

活動発足の背景

<実体験>

自分が新生生の時に学科のことについて質問できる人がいなくて不安だった。

<2020年度の新入生の様子>

オンラインでの授業スタートにより、さらに不安。SNSで質問をする姿が多く見られた。

活動の目標

学生の生の声が聴ける場所
 気軽に相談できる場所
 を作り、国文学科生の不安を解消したい。



活動内容

① SNS 広報

活動の周知 質問箱の設置

主にTwitterや京女ポータルを活用しながら、活動の周知や企画の告知を行い、まずは国文学科ピアサポーターについて知ってもらうことを目指しました。

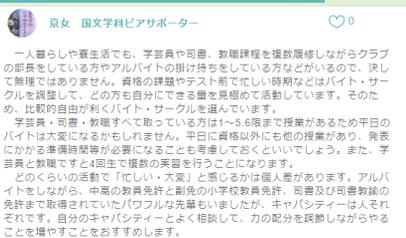
また、それだけでなく、気軽に不安や悩みの解消ができるよう質問箱を設置しました。

メンバーで話し合いながら丁寧で分かりやすい解答づくりという点に気を配りました。

中高教員と学芸員の資格を目指していますが、一人暮らし・バイト・サークル活動をしていても自分が頑張れば、資格取得できますか？ また、そういった授業の取り方をしている先輩はいらっしゃいますか？



公式Twitter

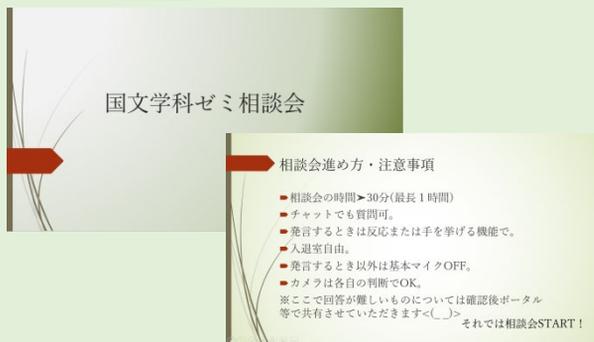


② 相談会

9月：履修登録相談会 11月：分属前相談会

履修やゼミ分属について相談できる機会をオンラインで設けました。履修相談会で参加者が少なかった反省を踏まえ、学生のニーズを探るために国文学科生にアンケートも実施。分属前相談会に活かしました。

そもそも相談会の必要があるのか、開催するとしたら都合がつけやすい時間はいつか、その他知りたいことがあるかなど、アンケート結果を参考にしつつ分属前相談会をとり行いました。



② デジタル冊子

ゼミ情報の収集 デジタル冊子の作成

国文学科の学生として知りたい情報を、実際にゼミに所属していた学生から収集するという考えのもと取り組みました。リアルな学生の声を集めることに意義があると考えたからです。学生に協力いただいて集めた情報は、相談会でも必要資料として用いました。

また、このゼミ情報やこれまでの活動のまとめとしてデジタル冊子を作成しました。内容は各回生ごとのゼミ情報の他にも、実際に学生から集めた履修をモデルとして掲載しました。情報が少なく不安な新生から、ゼミ分属に悩む上回生まで、国文学科の生徒が欲しいと思う情報が載った冊子が出来上がったと考えています。



活動内容

<成果>

相談できる場の創造
 デジタル冊子
 活動発足一年目の土台作り

<反省>

認知度の向上
 見通しを持った活動計画
 アンケートの有効活用
 上回生に向けたアプローチ

2021年度も活動継続中！
 メンバーも随時募集中！